

図書だより

7月号

2021年7月
だいでうしょうがっこうとじょうかん
大道小学校図書館

もうすぐ夏休み・・・

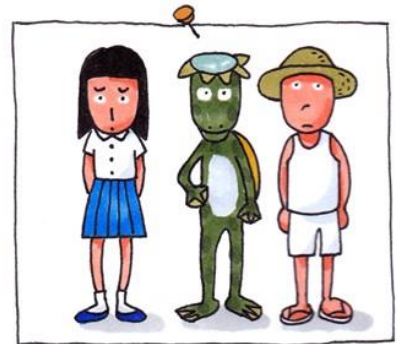
1学期も残りわずかとなりました。1年生も図書館に慣れて、貸し出し・返却が上手になりました。限られた休み時間の割り当てに、借りに来てくれた人もたくさんいました。

長い夏休み、みなさんはどんな本と出会うでしょうか。夏休みの間、学校図書館は使えませんが、藤沢市の公共図書館などで夏休みの宿題の調べもの、工作や実験のアイデアさがし、そして読書を楽しんでください。

昔の人も怪談好き？

夏といえば怖い話や怪談。江戸時代には『百物語』という遊びが流行しました。怪談話などを一人ずつ話していき、百話語り終えたとき、妖怪や幽霊が現れるといわれていました。昔の人も怪談好きだったのですね。

夏休み、怖い本や妖怪がでてくる本にも挑戦してみますか？



なつは「ふしぎか」いっぱい



八月四日

*

夏の朝は

水が草木の朝ごはん

早くさいてね

水ひきさん

草木たちの

昼ごはんは

日の光

ちよつとまがしい

昼ごはん

夕ごはんは

もう一度水

草木たち

あきないのかな

水ばかり



「四季の色・堀明子詩集」より

なつやす
夏休みにおすすめの本 (**緑陰図書**) (ぜんこくがっこうとしょかんきょうぎかいせんてい)
ほん りょくいんとしよ

なつやす あいだ どくしよ した おお どくしよ
夏休みの間に読書に親しみ、多くの読書をすすめるために
えら としよ
選ばれた図書です。

ていがくねん
<低学年>

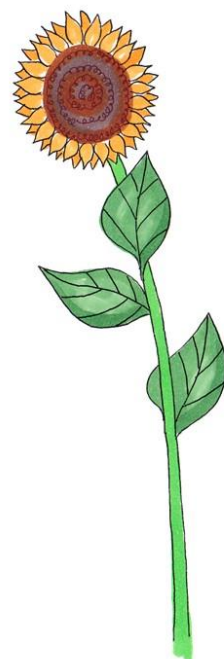
- うみがめのおじいさん(いとうひろし・作)
- みどりバアバ(ねじめ正一・作 下田昌克・絵)
- 区立あたまのてっぺん小学校(間部香代・作 田中六大・絵)
- アパートのひとたち(エイナット・ツアルファティ・作 青山南・訳)
- ステラとカモメとプラスチック:うみべのおそうじパーティー
(ジョージナ・スティーブンス・作 イジー・バートン・絵 いとうのぶこ・訳)
- ヘビと船長:フランス・バスクのむかしばなし
(ふしみみさを・文 ポール・コックス・絵)
- いし(中川ひろたか・作 高畠那生・絵)※
- ぼくらはもりのダンゴムシ(まつおかたつひで・さく) ※

ちゅうがくねん
<中学年>

- ぼくのとうさんわたしのおかあちゃん(さくら文葉・作)
- さくら村は大さわぎ(朽木祥・作 大社玲子・絵)
- オオハシ・キング:ぼくのなまいきな鳥(当原珠樹・作 おとないちあき・絵)
- きぼう:HOPE
(コーリン・アーヴェリス・ぶん セバスチャン・ペロン・え ひさやまたいち・やく)
- お話のたきぎをあつめる人:魔法の図書館の物語
(ローレンティン妃、パウル・ヴァン・ローン・作 西村由美・訳 佐竹美保・絵)
- おすしやさんにいらっしゃい!:生きものが食べものになるまで
(おかだだいすけ・文 遠藤宏・写真) ※
- 地球のことをおしえてあげる(ソフィー・ブラッコール・作・絵 横山和江・訳)※
- タコとイカはどうちがう?(峯水亮・写真 池田菜津美・文 杉本親要・監修)※

こうがくねん
<高学年>

- あおいの世界(花里真希・著)
- 江戸の空見師 嵐太郎(佐和みずえ・作 しまざきジョゼ・絵)
- りんごの木を植えて(大谷美和子・作 白石ゆか・絵)
- どうしてなくの?(フラン・ピンタデーラ・文 アナ・センデル・絵 星野由美・訳)
- ぼくはおじいちゃんと戦争した(ロバート・K・スミス・著 こだまともこ・訳)
- 夜の妖精フローリー(ローラ・エイミー・シュリッツ・作 日当陽子・訳 さとうゆうすけ・絵)
- 命のうた:ぼくは路上で生きた 十歳の戦争孤児(竹内早希子・著 石井勉・絵)※
- 中谷宇吉郎:雪と氷の探求者(清水洋美・文 野見山響子・絵)※



※印はノンフィクション